

～*Thank you*～

谷地南部小学校

校内研究だより

2024. 2. 19

No.19 文責 荒木秀

むごい教育とは？

戦国時代の武将、今川義元の『むごい教育』という話をご存じですか？

駿河国(現在の静岡県)をおさめていた義元は、三河国(現在の愛知県)を占領した際に、竹千代(後の徳川家康)を人質にとりました。義元は家来に対し、「竹千代には、むごい教育をせよ。」と命じたそうです。さっそく家来は、竹千代に粗末な食事を与え、ほとんど休みなしで武術を教え込む生活をさせました。しかし、これを知った義元は家来に対し激怒したそうです。さあ、何故でしょうか？

義元は家来に対し、次のように話したそうです。「人質の竹千代には、朝から晩まで海の幸や山の幸あふれるぜいたくなご馳走を好きなだけ与えてやれ。寝たいと言ったら、いつでもいくらでも寝かせてやれ。夏は暑くないように、冬は寒くないようにしてやれ。学問が嫌だと言うならやらせるな。何事も、好き勝手にさせたらよい。そのようにすれば、人間はダメになるから。」

敵国の子孫です。今は幼くてもいずれ成長したときに反旗をひるがえすかもしれません。その時に、自分では何もできない大人にしようと義元は上記のような教育をさせたのでしょ

「一番のむごさは、叱ることで厳しくすることでもなく、甘やかすこと。」というメッセージがこめられたお話です。考えさせられますね。さて、南部の竹千代たちは、どうでしょうか。大人になるまでの折り返しを過ぎた4年生。大人として自立できるよう、「むごくない教育」を学校でも心がけていきたいと思います。どうぞご家庭でもお願いします。「大人までのタイムリミット」は、10年です。長いようで、短いですよ。



上記は、私が新しいクラスを持つと必ず出す、学年通信の内容です。おうちの方に向けて出すものですが、先生方はどうですか？「むごくない教育」されていますか？

私は元々中学校教員を目指していたこともあり、小学校の先生方の丁寧なご指導に尊敬の気持ちを持つと同時に、「ちょっと関わりすぎじゃない？」と感じる瞬間があります。大人が先回りすることで、その場はしのぐことができるかもしれませんが…子どもたちが学ぶ機会を奪っていないかということです。

「かわいい子には旅をさせよ」「ピンチはチャンス」…。すみません、うまくまとまらず。炎上覚悟で書いてみました。みなさん、どうですか？

